

ボランティアを含む市民活動に関する アンケート

集計結果（案）

1 調査方法

- アンケート配布は以下の通り
 - 市民協働課窓口
 - 市内地域市民センター全館
 - 平和祈念フェスタ来場者
 - まちづくり委員会委員
 - 円卓会議参加者
 - ボランティア・市民活動センター職員
 - 事務局及び検討会委員による口コミ
 - インターンシップ学生 他
- 回答方法はアンケート用紙を持参またはFAX、専用回答フォームのQRコードから回答のいずれか。

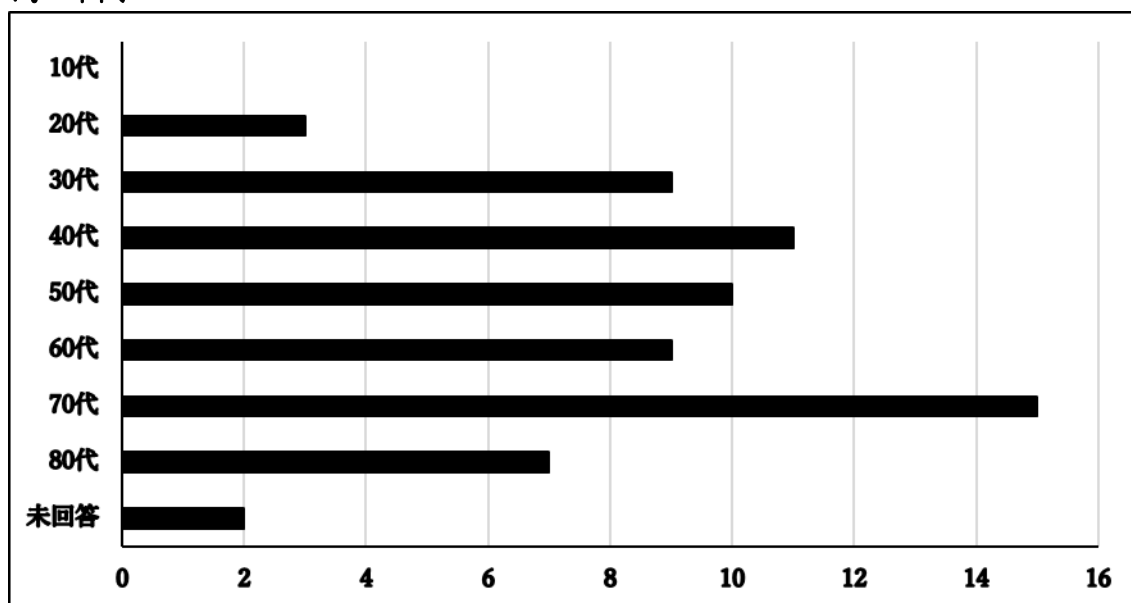
2 回答数

- 66件

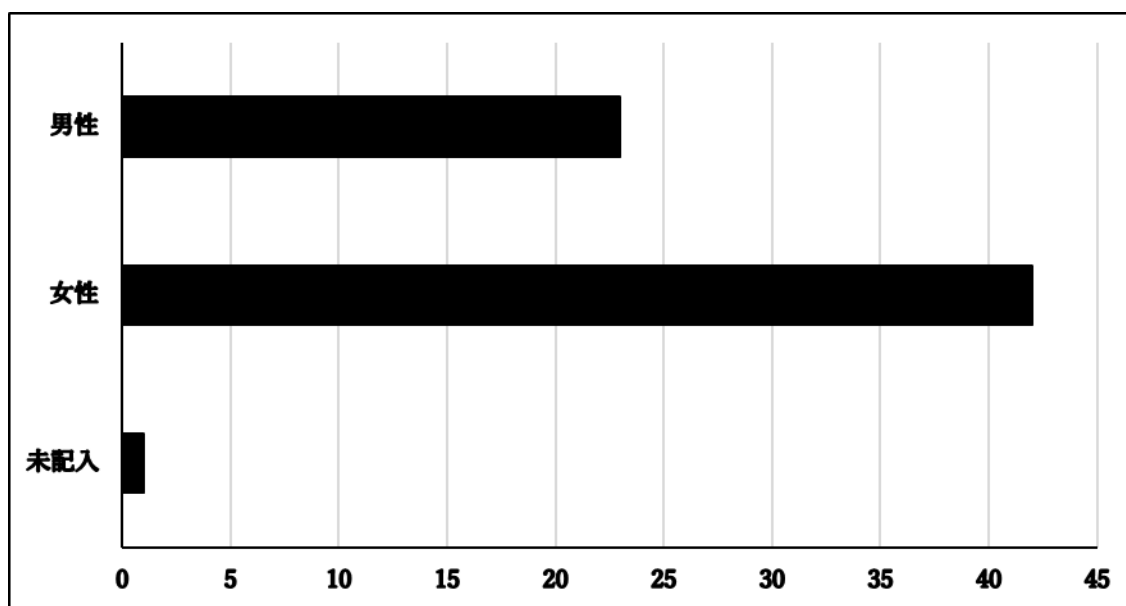
3 調査結果

【ご回答者について】

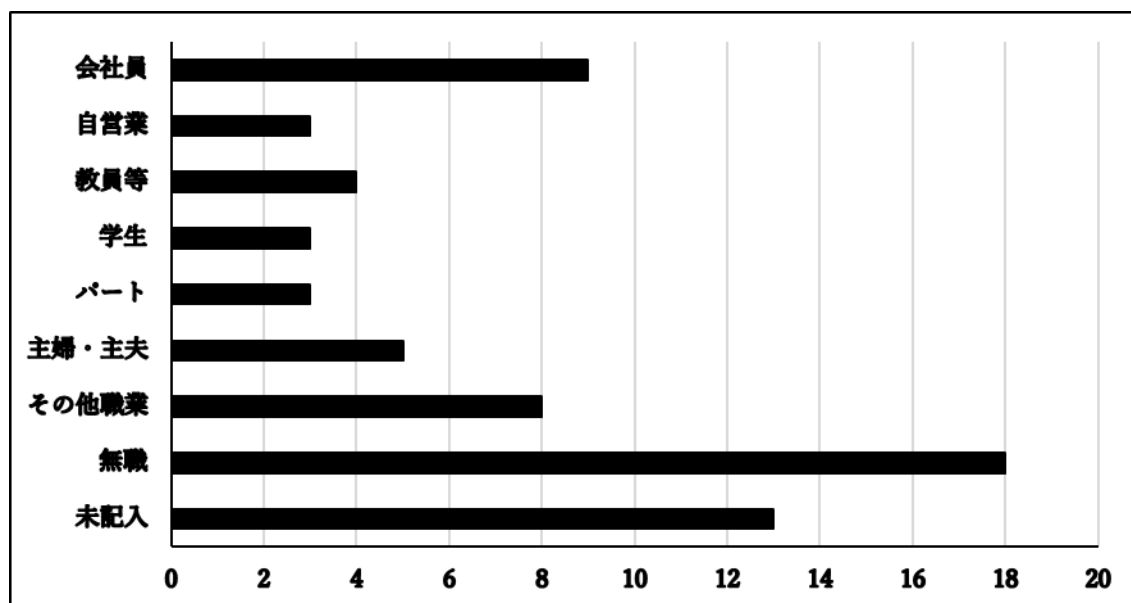
1. 年代



2. 性別



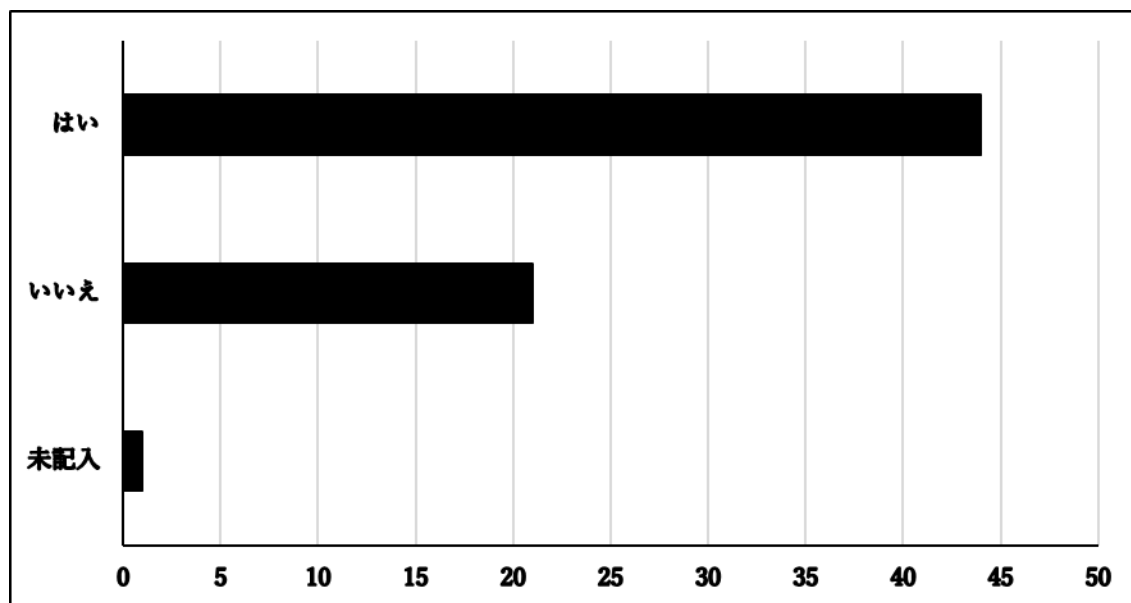
3. 職業または学校名



その他職業：日本語看護連盟、ころぽっくる、中間支援（3人）、ガテン系職人、作業療法士、生活支援員

学校名：日本社会事業大学（2名）、日本社会事業大学大学院

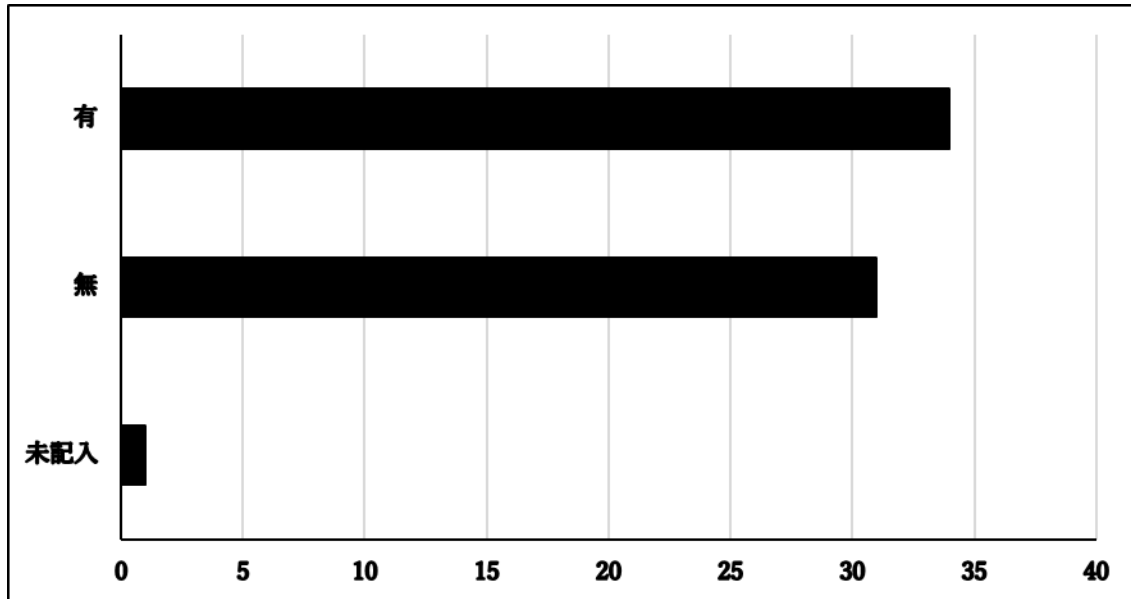
4. きよせボランティア・市民活動センターを知っているか



【コメント】

◆66人中44人が知っていた。活動センターに関わりの少ない方を中心にアンケートを取ったが認知度の高さが伺える。

5. きよせボランティア・市民活動センター利用経験



【コメント】

◆ 44人中34人が利用経験有だった。

問1. 現在、お住まいの地域で担っている役割や取り組んでいる活動にはどのようなことがありますか。順番が回ってきてやむを得ずやるものや、自発的にやっていることのどちらでもかまいません。（例：自治会の役員、PTA、防犯パトロール、サロンの運営、趣味のサークル、講座等の講師、市道の落ち葉拾い など）（自由記述）

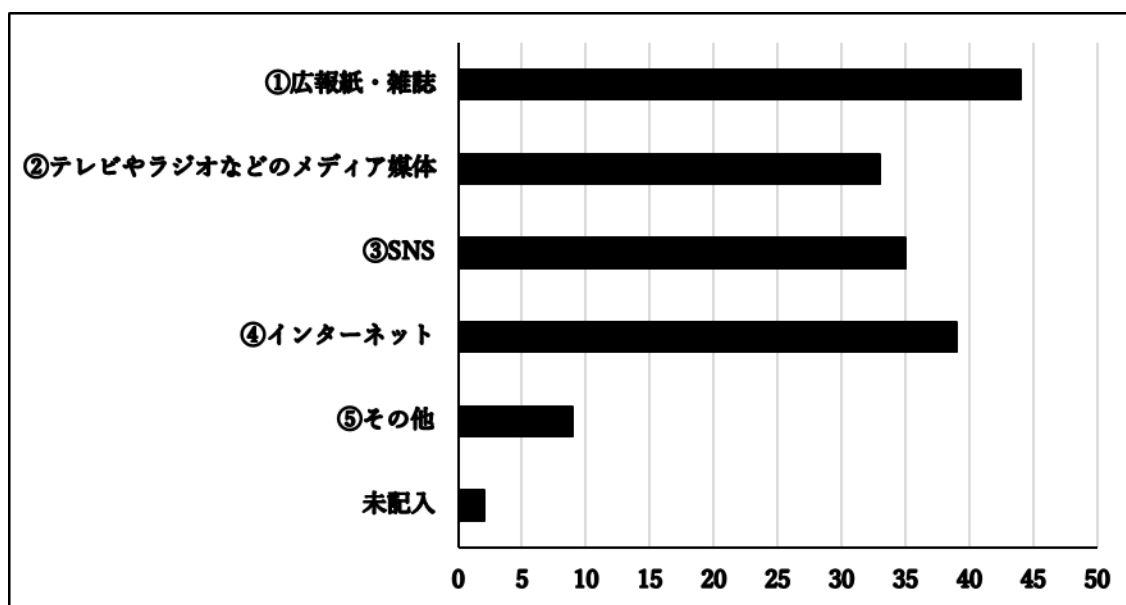
- 民生児童委員としての活動
- ひまわりフェスティバル
- 防犯灯の見まわり、自治会の（町内）ゴミ回収
- 保育園のPTAの役員。清瀬中里地域コミュニティについて考える会（さつまいもクラブ）（花の里公園でのイベント開催）
- 趣味のサークルや小さな学習会、コンサート、映画会など自主的にやっているが、会場をとるのにとても苦労している。
- 自治会の役員、サークル
- ボランティア
- 生協組合員、健康づくり活動世話役など
- 野塩長生会役員、神社清掃
- 旭が丘で10の筋トレのお世話をしている。
- 自治会も何もないので、自主的にゴミ置き場の掃除をしている。
- 小、中学校（8小、3中）の通学路の景観維持
- 絵手紙サークルの講師、ラジオ体操
- きよせネクストに所属し、地域にお住まいの高齢者宅のゴミ出しボランティアに取り組んでいる。
- 父が会長をしているが、子どもが小さいため私達は何もできていない。
- 清瀬市消防団に14年間所属していた。今は平心講に所属し、お神輿を担いだりしている。
- まちづくり委員会、市のお祭りへの出店、きよせコミュニティカレッジの講師

(2025 年 10 月～)、学校支援ボランティア

【コメント】

- ◆自治会や学校関係が目立った。やむを得ずやるものが多いことが伺える。
- ◆サークルと記載されている方も目立つのは70歳代の回答が一番多く、セカンドキャリアを充実させていることが伺える。

問2. 普段、暮らしや趣味について必要な情報をどこから入手していますか。(複数回答可)



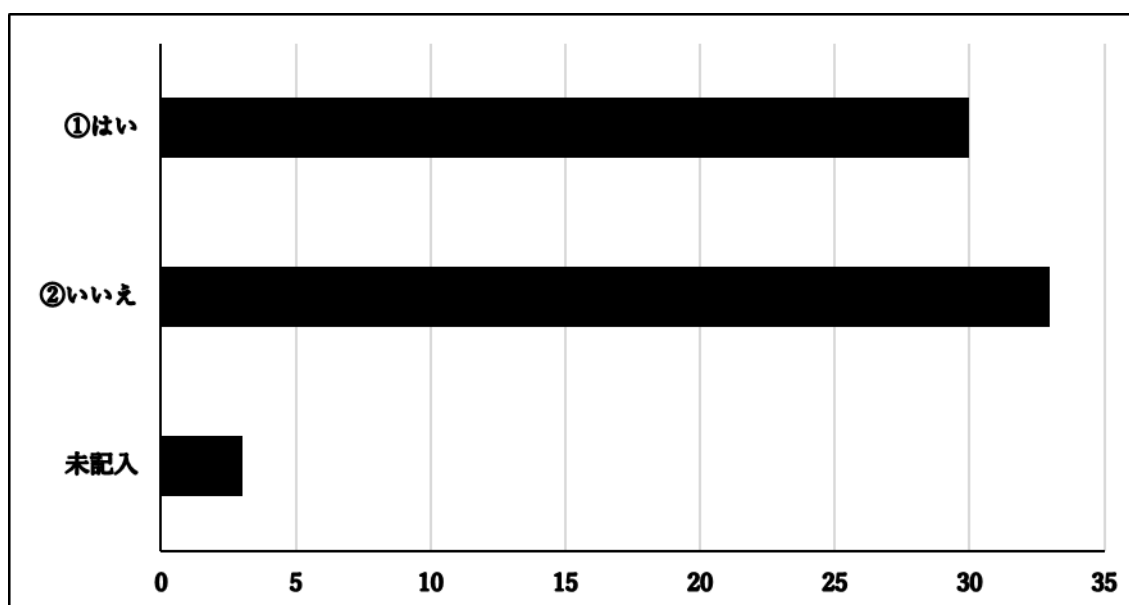
その他

- 住人の方や友人の口コミ（7件）
- チラシ
- 所属コミュニティ内での話

【コメント】

- ◆SNS、インターネットが増えてきているので、テレビやラジオなどのメディア媒体が減少傾向にある。
- ◆広報紙・雑誌の一番多い結果となったのは、アンケートの回答の60代以上が31人と約半数となったことが要因であると考えられる。

問3. 市内、市外の趣味のサークルやボランティアを含む市民活動団体に入って活動していますか。



【コメント】

◆はいと回答した方は30人、いいえと回答した方は33人となり、回答した方の約半数が市民活動をされている。

「①はい」と回答した方は、活動は市内・市外どちらか、どのような団体で、なぜその団体に入りましたか。（自由記述）

- 市外こども相談我が子が小学生のとき知り合いに案内されて興味を持ち続けている
- 卓球（100歳時代）清瀬卓球連盟
- 川づくり清瀬の会、花の里公園のさつまいもクラブ（子どもと一緒に楽しめると思ったので）
- 市内でも市外でも自主的な催し物を計画している。
- 市内福祉生協
- 市内、野塩長生会（老人会）、地域の方との交流
- 市内環境
- 「てことば」手話の学習活動
- 認知症サロン・老人ホーム等（3～4ヶ所）
- 団体ではないが、私的に動いている。
- コーラス
- 市内団体 たねまきびと清瀬の運営委員、自治会では10の筋トレ宮の台事務局に勧誘された。
- 活動は市内。きよせネクストでは、信愛包括支援センターが主となり、地域にお住まいの高齢者のお悩みにボランティアが対応している。（内容は、物干し竿を買ってきてほしい、草むしりをしてほしいなど、行政には頼みにくいようなちょっとしたご相談）大学の後輩が所属していて、私も清瀬でボランティアを行いたいと考えていたため入った。
- 市内で平心講に所属し、お神輿を担いでいる。以前、消防団に所属していて、その

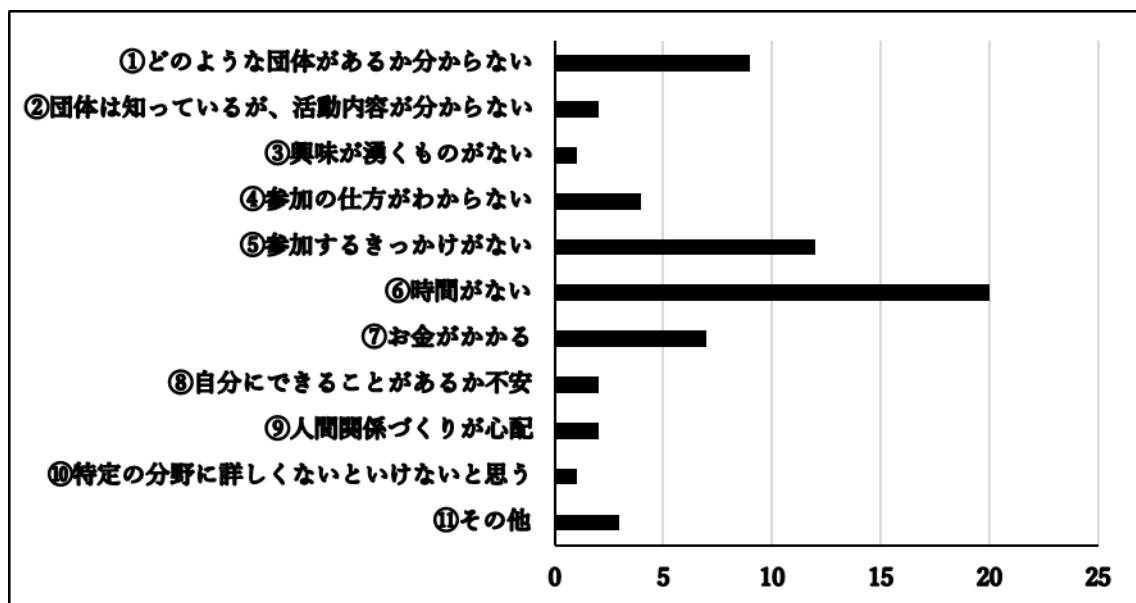
時の仲間がたくさんいるから。

- 市内学校支援ボランティア。将来的に子供に関わっていきたい気持ちがあったため。
- 川の会、子ども食堂、太極拳、興味のある、自身の健康、必要にせまられたことがある。
- 市内で図書館関連。図書館、読書を盛り上げるため。
- 新婦人清瀬支部で平和の活動をしている。
- 市外で活動している。豊島区のホームレス支援団体。大学教員からのご紹介。

【コメント】

◆趣味のサークルによると思ったが、しっかりと活動されている方が多い印象である。

問4. 問3で「②いいえ」と回答した方にうかがいます。こうした活動に参加しない理由をお聞かせください。(複数回答可)



その他

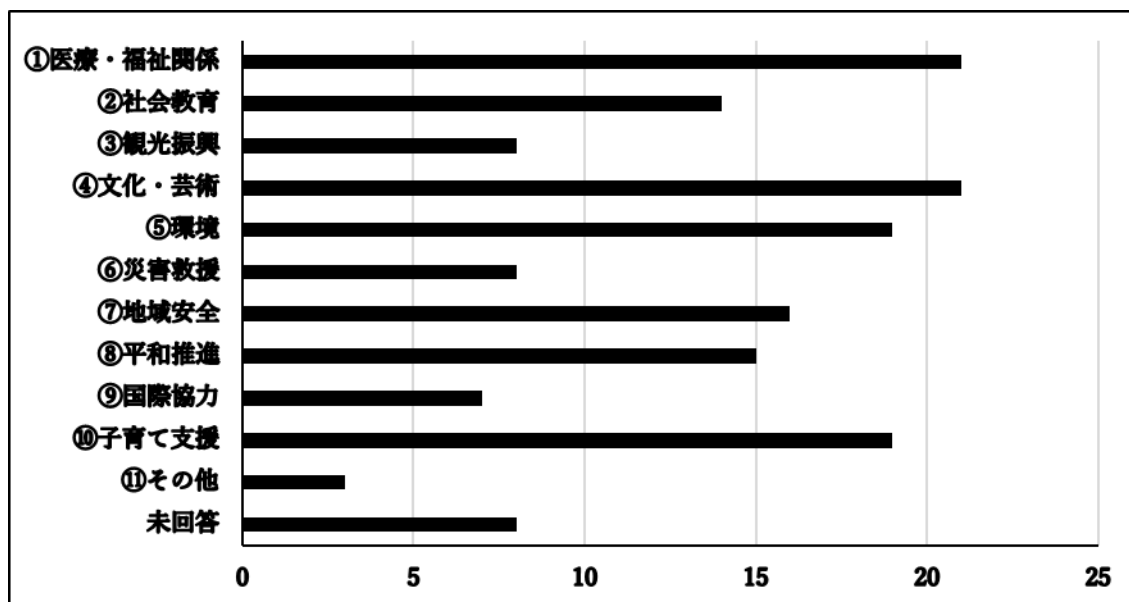
- 団体には入ってない。単発ではボランティアをしている。
- 子どもの小さいうちは自身の事も後回しのため、身軽になってからかなと思っている。

【コメント】

◆「時間がない」が一番目に多くなったのは、現役世代、子育て世代の回答が33人と半数以上となったためだと推測する。

◆「参加するきっかけがない」が二番目に多くなったのは、市民活動に関する情報が届いていないことが要因だと判断する。

問5. 友人や知り合いと地域のために活動するとしたら、どのような分野の活動をしたいと思いますか。既にされている方は、他ほかにどのような分野に興味がありますか。
(複数回答可)



その他

- 手話を活用した活動
- 植物、花の手入れ
- 動物

【コメント】

◆一番目に多かった「医療・福祉関係」と「文化・芸術」については、「医療・福祉関係」は清瀬市内で福祉に関わる仕事など身近に感じる機会が多いことが要因と考える。「文化・芸術」は将来的には興味はあったが、関わってこなかった分野への挑戦する気持ちから多くなったと推測する。

◆二番目に多かった「環境」と「子育て支援」については、「環境」は連日の猛暑への取り組み・対策を意識しての回答になったと推測する。

「子育て支援」は今まで子育て支援を受けてきて、それを返していきたいという思いや、子育ての経験を活かして社会貢献したいという意識の表れだと推測する。

問6. ボランティアを含む市民活動に対して、関心をさらに高めるには何が必要ですか。(施設、情報、交流など、できるだけ具体的にお聞かせください)(自由記述)

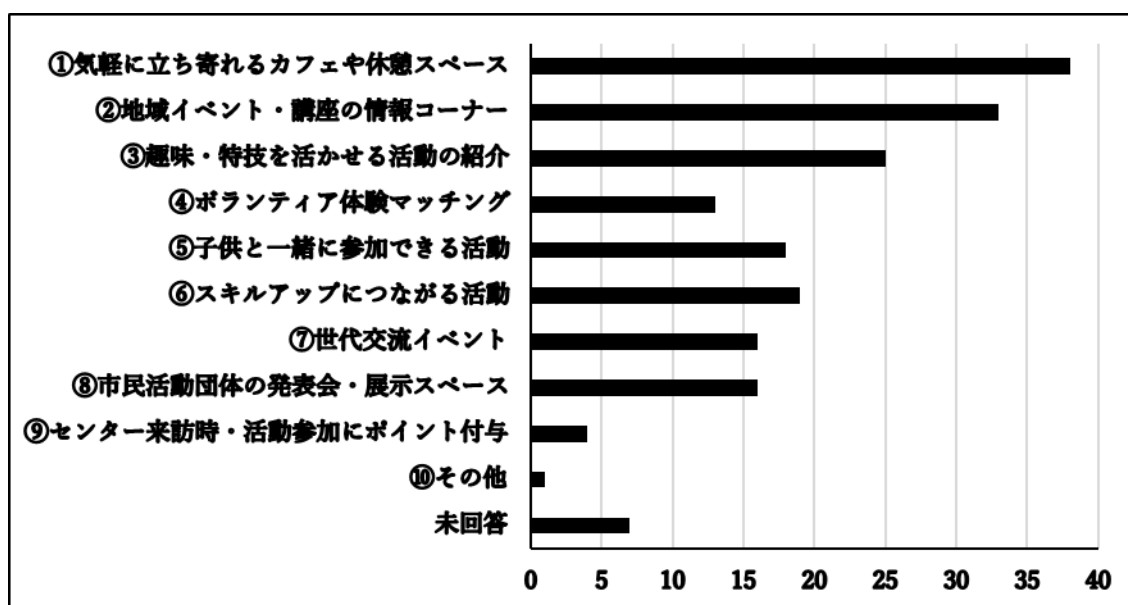
- 「できる人ができることを」でなく、いったん関わると生活に影響が出るほどやらなきやいけなくなる。
- 情報公開と情報発信。情報交流のプラットフォームが必要
- 自身の生活の安定がないと市民活動はできない。清瀬全体が豊かになって欲しい。
- 安全保障。高齢のボランティア参加者も多くなっている。各個人の保険保証ではなく、主催者の市、自治体で保障してほしい。
- 学校を通じての案内
- 活動センターの交流
- ボランティア団体が無料で利用できる施設
- お試しボランティア

- 活動拠点である施設は必要不可欠。活動する人材の確保も必要。
- 広報。また、どの地域からも通いやすく無料の駐車場や駐輪場があり、どの世代も活動ができる施設。
- 誰にでもアクセスしやすい場所。市民にとって偶発的な交流が発生するスペース。ボランティアや市民活動は、住民の自発的な活動が根幹であるため、それらをサポートできるセンター。
- 必要な情報が、必要とする人に届く機会が増えること。複数の媒体を利用し広報すること。
- 情報は足りないと思う。どの程度時間が必要なのか、などわからないことも多いため最初の時点から今は無理かなと思う方多いと思う。
- 活動情報の認知度と地域復興に役立つ活動、目に見えてわかる施策の成果。
- 市報だけでなく、市の SNS やホームページでも更に活動内容などが多く掲載されれば目に付くのではないかなと思う。実際に活動しているところもなかなか目にすることがない(もしくは気付かない)ので、まずは宣伝ではないかなと思う。
- 情報が必要だと思う。ボランティアという言葉そのものがハードルが高く感じてしまう。
- 義務教育時代から参加する機会提供や目的について教育を行い、市民としての所属感を強める。その中で他者貢献、社会貢献に対するやりがいや幸福度の高さを感じていただければ幸い。
- 集まって話せる無料の場所、ボランティアするのにお金がかかるのは困る。こうしたという思いを受け止める姿勢多様なボランティアができるという情報提供。そのための印刷機器の必要性。
- 活動情報、活動団体の紹介について市が積極的に広報すること。また、市民センターなどの公共施設を拡大し、利用料は下げて使いやすくすること。活動に必要な情報が得られるように Wi-Fi 環境が整備されている。
- 清瀬市内で「ボランティア」と聞いたら「きよせボランティア・市民活動センター」が第一想起されるくらいに認知されること。そのためには市民が必ず目にするような場所に名前と活動が定期的に掲載されること。興味関心が向くチャンネルで広報活動をする、など。

【コメント】

◆市民活動やボランティア活動へのハードルを下げ、より多くの市民が気軽に参加できるような環境整備が求められている。また、活動の情報発信の強化や、きよせボランティア・市民活動センター認知度向上が重要であり、体験会のように身近に感じてもらえるイベント等の開催が望まれる。

問7. きよせボランティア・市民活動センターにあったら行きたいと思う機能やサービスはありますか。（複数回答可）



その他

- ポイント付与重要だと思う。
- 小中学生が放課後の時間に立ち寄り、宿題や雑談ができる空間（放課後の居場所）

【コメント】

◆一番多い回答が「気軽に立ち寄れるカフェや休憩スペース」となったのは、現在のきよせボランティア・市民活動センターが閉鎖的で誰もが入りやすいという印象が少ないためだと推測される。

◆「センター来訪時・活動参加にポイント付与」の回答数が一番少なかったのは、ボランティア活動や市民活動を行うことに対してインセンティブを求めている人が少ないということが分かった。